

優秀賞

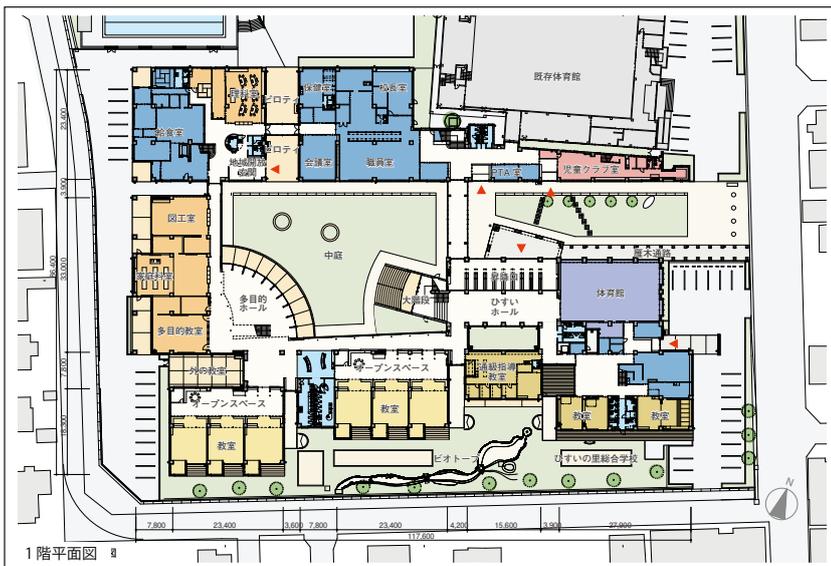
生活施設
(北陸地区)

糸魚川市立糸魚川小学校・ 糸魚川市立ひすいの里総合学校



多目的ホール。クラスでのグループ学習の様子

「小学校」と「ひすいの里」共通のアプローチ



所在地	新潟県糸魚川市中央 1-2-1
敷地面積 (m ²)	26,329.00
建築面積 (m ²)	5,782.19
延床面積 (m ²)	9,167.07
構造/階数	RC造、一部S造/地上2
事業者	糸魚川市
設計者	創・ゴンドラ・近藤設計特定JV
施工者	猪又・谷村特定JV
竣工年月	2014 (平成26) 年3月
総工事費	2,580 百万円

改築前は市の小学校の余裕教室を利用した県の特別支援学校が併設されていたが、市の小学校の改築に当たり県の特別支援学校の整備予定がないことから、県の特別支援学校を市が引き取った。そして市立の特別支援学校として、小学校整備に含めた一体の校舎として整備できたことは、行政の垣根を越えて、地域が連携して子どもたちを育てていくという地域力を示すものである。「糸魚川小学校」と「ひすいの里総合学校」は別々の学校であるが、子どもたちは同じ昇降口から登校し、お互いに挨拶を交わし、両校の児童が同じ校舎で生活している。

特徴あるレンガの外観は、糸魚川駅のシンボルだった「赤レンガ車庫」のイメージを、市民の要望により「赤レンガ学校」として、記憶を継承したものである。学校建築としての新規性や独創性を狙った作品ではなく、むしろ児童が学ぶ場所としての本質的なアイデアを随所に盛り込み、明るく開放的な学びの環境をつくるという学校建築でもっとも大切にすべき空間イメージが、穏やかに実現された居心地のよい校舎になっている。特に、廊下と教室の間にあるオープンスペースが有効に使われている。

みんなの夢を育む学校

「みんな」とは、子どもたちはもちろん、学校で勤務する教職員、保護者、そして地域の方々、学校に関わるすべての人を指します。その「みんな」の夢・思いを実際の形にするため、ワークショップを何回も行いました。この経験をとおして、「みんな」が夢を育む学校をつくらうという思いを共有できました。学校近くにあった旧機関車庫をイメージしたレンガ。広い中庭。明るいトイレなど。そして、何よりも子どもたちが障害の有無に関係なく共に学び、遊ぶ、インクルーシブな校舎は、大きな特徴です。地域と共に歩む学校づくりを実現できる校舎です。

(山本修・糸魚川小学校長)